

すながわの家計簿

圖財政係TEL 74-8768



市では、皆さんから納めていただいている市税などの収入をもとに、さまざまな仕事（事業）を行っています。それがどのようなことにどのくらい使われているかなどを知っていただくため、毎年財政状況を公表しています。今回は、令和3年度決算および基金や市債の状況、令和4年度予算の12月末までの執行状況をお知らせします。

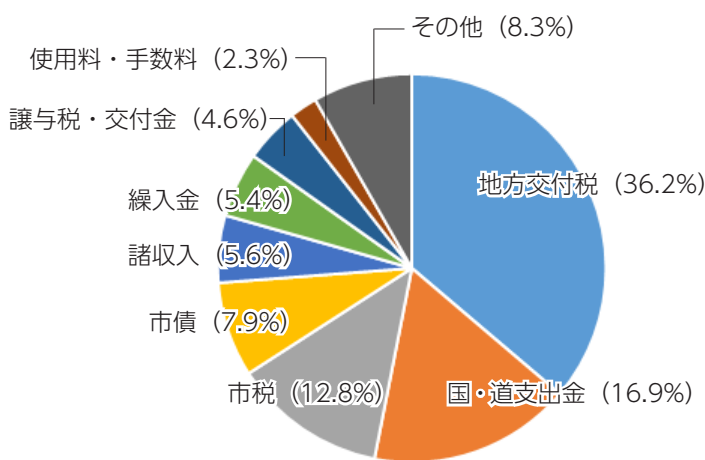
令和3年度一般会計決算状況

令和3年度決算は、令和2年度に実施した特別定額給付金などによる民生費の減や市役所庁舎建築主体工事の完了により前年度と比較して減額となっています。

歳入

決算額 **153億9,488万円**

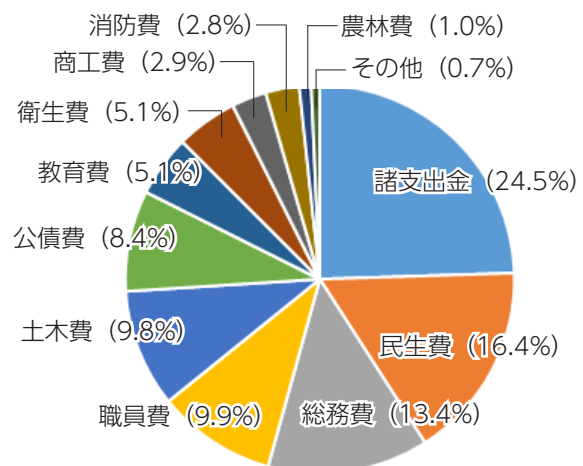
市税の収入が伸び悩む中、国や道から交付される地方交付税や国・道支出金、譲与税・交付金などの依存財源が65.6%と全体の約7割を占めています。将来にわたり安定的な財政運営を行っていくためにも、市税などの自主財源の確保が重要となっています。



歳出

決算額 **145億7,000万円**

市立病院、下水道、後期高齢者医療保険、国民健康保険の各会計に繰出している諸支出金が24.5%を占めています。続いて、生活保護や福祉医療、子育て支援などに使われる民生費が16.4%を占めています。



科目	主な内容	決算額
地方交付税	財源が不足する市町村へ国が配分するお金	55億7,276万円
国・道支出金	特定の事業に対して、国や道が支出する補助金	26億791万円
市税	市民税や固定資産税	19億7,632万円
市債	市の借入金	12億1,500万円
諸収入	貸付金元利収入	8億6,261万円
繰入金	貯金（基金）の取り崩し	8億3,673万円
譲与税交付金	地方譲与税、地方消費税交付金	6億9,735万円
使用料手数料	住宅・体育施設使用料や住民票・ごみ処理手数料	3億5,480万円
その他	財産収入、繰越金	12億7,140万円

科目	主な内容	決算額
諸支出金	市立病院などへの支出	35億7,339万円
民生費	福祉サービス・新型コロナ対策経費	23億9,488万円
総務費	情報化推進費	19億5,342万円
職員費	職員の給料・手当	14億3,764万円
土木費	道路・公園などの整備、市営住宅の維持管理	14億3,433万円
公債費	市が借りたお金の返済	12億2,788万円
教育費	学校や社会教育の振興	7億4,206万円
衛生費	ごみ収集や健診経費	7億3,959万円
商工費	新型コロナ関連経済対策	4億2,403万円
消防費	広域消防組合の負担金	4億83万円
農林費	農林業や畜産の振興	1億4,294万円
その他	議会費・労働費	9,901万円



市の財政を家計にたとえてみると



市の財政をより身近に感じられるように、令和3年度一般会計の決算額の構成率をもとに、ある家族の年間収入が300万円の家計簿を作成しました。

収入			支出		
給料 〔市税、交付税〕	… 49.0%	147万円	食費 〔職員費〕	… 9.9%	30万円
家族の収入など 〔諸収入、使用料など〕	… 16.2%	49万円	医療費 〔民生費〕	… 16.4%	49万円
実家からの仕送り 〔国・道支出金、交付金〕	… 21.5%	64万円	生活費 〔衛生費、教育費など〕	… 27.2%	82万円
ローンの借り入れ 〔市債〕	… 7.9%	24万円	家の補修・増改築 〔土木費・庁舎建設〕	… 13.6%	41万円
貯金の取り崩し 〔繰入金〕	… 5.4%	16万円	子どもへの仕送り 〔諸支出金〕	… 24.5%	73万円
			ローンの返済 〔公債費〕	… 8.4%	25万円
	合計	300万円			
		返済後のローン残高 327万円		合計	300万円



市民1人当りに使われたお金



議会費 議会の運営など 5,511円	民生費 福祉の充実など 149,577円	衛生費 清掃や保健対策など 46,192円	農林費 農林業の振興など 8,927円	商工費 商工・観光振興など 26,484円	土木費 道路整備や除雪など 89,584円
消防費 消防車の整備など 25,035円	教育費 教育施設の管理など 46,347円	公債費 借入金の返済など 76,690円	諸支出金 病院への繰り出しなど 223,183円	職員費 職員の給料など 89,791円	総務費 122,005円 その他 673円

*金額は、一般会計の決算額を令和4年3月末人口16,011人で割ったものです。

総額 909,999円



市の貯金と借金



令和3年度の市債残高は前年度に比べ、一般会計では3,146万円増加しました。これは、庁舎建設に係る借入金の増加の影響によるものです。

■基金（貯金）の状況

基金の種類	総額
財政調整基金	13億3,591万円
庁舎整備基金	2億7,792万円
減債基金	1億7,537万円
まちづくり事業基金	5億8,946万円
社会福祉事業振興基金	3億7,213万円
特別会計基金	2億5,445万円
計	30億524万円

■市債（借金）残高の状況 ※各年度5月末

	一般会計	企業会計		総額
		下水道事業	病院事業	
R2年度	158億5,700万円	34億2,006万円	121億4,524万円	314億2,230万円
R3年度	158億8,846万円	30億6,975万円	117億887万円	306億6,708万円
増減	3,146万円	△3億5,031万円	△4億3,637万円	△7億5,522万円



財務書類からみた令和3年度の決算状況（一般会計）



財務書類は民間企業が作成する決算書と同様の考え方で作成されており、単年度収支では見えてこない市の資産や負債およびコストに関する情報が明らかになっています。

1 貸借対照表（市が保有する資産や将来返済する借金の状況などがわかります）

年度末に市が保有している資産（財産）と、その資産を取得するための財源（負債、純資産）を示しています。学校などの公共施設や道路・公園などの公共インフラにより構成される有形固定資産が資産全体の8割以上を占めており、負債に計上されている地方債はこれらの公共施設や公共インフラの整備の財源とされた借金の残高です。

◆貸借対照表（令和4年3月31日現在） ※前年度との比較

（単位：百万円）

科目	R2年度	R3年度	増減額	科目	R2年度	R3年度	増減額
固定資産				固定負債			
有形固定資産（学校、道路など）	39,772	39,471	△ 301	地方債（R5年度以降に返済する借金）	14,673	14,624	△ 49
投資および出資金（三セクなどへの出資）	1,245	1,249	4	その他	581	949	368
基金（将来の支出に備えた貯金）	2,149	1,851	△ 298				
その他	172	119	△ 53	流動負債			
流動資産				地方債（R4年度に返済する借金）	1,184	1,265	81
現金預金（市の財布の中にあるお金）	612	877	265	その他	221	237	16
基金（お金が足りないときに利用する貯金）	1,162	1,336	174				
棚卸資産（市が管理する分譲地）	508	693	185	負債合計	16,659	17,075	416
その他	26	23	△ 3	純資産合計	28,987	28,544	△ 443
資産合計	45,646	45,619	△ 27	負債および純資産合計	45,646	45,619	△ 27

令和3年度末現在で市が保有する資産の合計は約456億1,900万円で、これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。有形固定資産が約3億100万円減少していますが、これは建物や道路の改修による増加の一方で、減価償却費を13億8,300万円計上したことにより減少したことが主な要因です。基金（固定資産）が2億9,800万円減少していますが、これは新庁舎の建設に庁舎整備基金を活用したことが主な要因です。

2 行政コスト計算書（市が市民に行政サービスを提供するために1年間に発生したコストがわかります）

市が1年間に市民へのサービスを行うために発生した費用と、このうち市民が直接的に負担した使用料などの収益を示しており、その差額を純行政コストとして算定しています。このコストは市民からの税金や国・道からの補助金により賄われています。

◆行政コスト計算書（令和3年4月1日～同4年3月31日） ※前年度との比較

（単位：百万円）

科目	R2年度	R3年度	増減額	科目	R2年度	R3年度	増減額
人件費（職員の給料など）	1,996	1,972	△ 24	使用料および手数料（市営住宅の家賃など）	362	354	△ 8
物件費など（除雪や施設維持などの経費）	3,747	3,793	46	その他	139	104	△ 35
補助金など（消防・ごみ処理などの経費）	3,004	1,430	△ 1,574				
社会保障給付（自立支援給付金や児童手当など）	1,593	1,982	389				
他会計への繰出金	2,944	2,785	△ 159				
その他	121	151	30				
経常費用合計 ア	13,405	12,113	△ 1,292	経常収益合計 イ	501	458	△ 43
臨時損失 ウ	6	321	315	臨時利益 エ	42	41	△ 1
純行政コスト アーイ+ウーエ					12,868	11,935	△ 933

令和2年度に比べて補助金などが15億7,400万円減少していますが、これは令和2年度に実施した特別定額給付金16億6,700万円の減が主な要因です。

3 市民1人当たりだとのくらい？

市が保有する資産や借金の状況、1年間に発生するコストを市民1人当たりに換算すると右記のようになります。経常費用の減により1人当たりの純行政コストは減少しています。

項目	R2年度	R3年度
人口（年度末）	16,333人	16,011人
資 産	279万5千円	284万9千円
負 債	102万0千円	106万6千円
純 資 産	177万5千円	178万3千円
純 行 政 コ ス ト	78万8千円	74万5千円



令和3年度企業・特別会計決算状況



■ 企業会計

病院事業	収 入	支 出
収益的収支	149億6,227万円	147億7,338万円
資本的収支	12億1,901万円	17億6,840万円

下水道事業	収 入	支 出
収益的収支	7億7,744万円	5億4,171万円
資本的収支	6,376万円	4億4,415万円

●資本的収支不足分は損益勘定留保資金などで補填されており、健全経営が保たれています。

■特別会計

会計名	歳入	歳出	会計名	歳入	歳出
国民健康保険	20億1,452万円	19億8,481万円	後期高齢者医療	6億5,851万円	6億5,844万円
介護保険	18億9,810万円	18億3,244万円			



令和3年度決算に基づく健全化判断比率など



地方公共団体財政健全化法に基づく指標はいずれも基準値を下回っています。実質公債費比率は、前年度より0.6ポイント高い5.1%となっていますが、前年度に引き続き低い比率で推移しています。

指標	健全化判断比率				資金不足比率	
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	下水道事業	病院事業
説明	一般会計などの赤字状況	すべての会計を合算した市全体の赤字状況	市の収入に占める借金の返済状況	市が将来負担する借金などの状況	公営企業の収益に対する資金不足額の状況	
早期（経営）健全化基準	13.95%	18.95%	25.0%	350.0%	20.0%	20.0%
砂川市の比率	赤字なし	赤字なし	5.1%	65.6%	不足なし	不足なし

令和4年度会計の執行状況（令和4年12月末現在）

▶一般会計

◆歳入

科目	予算額	収入済額	執行率
地方交付税	51億500万円	52億4,953万円	102.8%
国・道支出金	24億8,696万円	14億3,563万円	57.7%
市税	19億6,545万円	14億4,918万円	73.7%
市債	12億3,700万円	0万円	0.0%
諸収入	8億7,266万円	3,130万円	3.6%
譲与税・交付金	6億1,617万円	4億4,715万円	72.6%
繰入金	5億8,133万円	3万円	0.1%
使用料・手数料	3億4,728万円	2億3,736万円	68.3%
その他	9億8,584万円	15億3,945万円	156.2%
計	141億9,769万円	103億8,963万円	73.2%

◆歳出

科目	予算額	支出済額	執行率
諸支出金	35億2,101万円	21億3,257万円	60.6%
民生費	25億333万円	16億8,326万円	67.2%
土木費	14億7,419万円	7億9,637万円	54.0%
職員費	14億1,899万円	11億4,878万円	81.0%
公債費	13億683万円	6億6,085万円	50.6%
総務費	9億8,489万円	5億47万円	50.8%
教育費	8億6,548万円	5億3,885万円	62.3%
衛生費	7億8,948万円	4億9,256万円	62.4%
商工費	6億6,475万円	4億6,113万円	69.4%
消防費	4億1,520万円	3億1,981万円	77.0%
農林費	1億4,470万円	1億401万円	71.9%
議会費	9,074万円	7,520万円	82.9%
その他	1,810万円	922万円	50.9%
計	141億9,769万円	89億2,308万円	62.8%

■一般会計とは…市税や地方交付税を主な収入財源として、行政運営の基本的な経費や事務事業を網羅して経理する会計です。

▶特別会計

会計名	予算額	収入済額		執行率
		収入済額	支出済額	
国民健康保険	20億5,431万円	11億1,894万円	54.5%	
		13億3,686万円	65.1%	
介護保険	19億4,956万円	12億2,335万円	62.8%	
		12億2,424万円	62.8%	
後期高齢者医療	6億8,608万円	4億6,285万円	67.5%	
		4億6,559万円	67.9%	

■特別会計とは…特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して経理を行っている会計です。

※市の財政状況は市ホームページでも公表していますのでご覧ください。

▶企業会計

下水道事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	7億7,486万円	3億5,083万円	45.3%
	支出	5億3,858万円	1億624万円	19.7%
資本的	収入	5,794万円	58万円	1.0%
	支出	4億2,568万円	2億4,245万円	57.0%

病院事業		予算額	執行済額	執行率
収益的	収入	139億9,835万円	97億7,187万円	69.8%
	支出	152億2,867万円	102億4,723万円	67.3%
資本的	収入	13億9,818万円	891万円	0.6%
	支出	19億7,850万円	13億3,799万円	67.6%

■企業会計とは…株式会社など民間企業の会計手法を取り入れ、独立採算制を原則とする会計です。病院の場合は診療収入などにより運営しています。